



シリーズ「子どもの居場所ニュース」

かみのやまこども食堂 かえる家(や)/ 上山市



孤食、孤立をなくし、あたたかいつながいを

Vol.9



上山市軽井沢の浄光寺で開催される子ども食堂「かえる家(や)」(代表・萩生田充知子さん)の活動に当課職員2名が参加しました。

この日から夏休みを迎える小学生等が夏休みの宿題やテキストを持参し、思い思いの場所で自学自習が始まりました。それを支えるボランティアの方々が昼食の準備と学習支援に分かれ、わからない所を聴いたり、調べたりしながら学習に打ち込んでいます。時折、中学生が小学生に話しかけリードしてくれる場面も見られ、どう接していいのかわからずもじもじしている私達にも、明るく話しかけてくれました。食事の準備の傍ら、萩生田さんが学習している子どもたち一人一人に声をかけ、頭をなでてくれることで、子どもの表情が安心したものに変わっていくのが印象的でした。昼食は、夏第一弾ということもあり、全員で流しそうめん。子どもたちの明るい笑顔に接することができた貴重な体験となりました。



かえる家(浄光寺)



みんなでお昼ごはん

萩生田さんは、東日本大震災直後から、お寺を使って長期休業中に子どもの預かりボランティア活動を行っていましたが、その夏の長男の一言「今日クラスの友だちを家に連れてきていい?」「あんまり家でご飯を食べていないみたいなんだよね」に衝撃を受けたそうです。これをきっかけにこの取り組みが始まり、平成29年にかみのやまこども食堂「かえる家(や)」と名付け現在に至っています。「かえる家」のテーマは「孤食を

なくそう」で、一人でご飯を食べている子どもたちも、みんなでワイワイ食べられるようにしようと活動しています。

しかし、子どもたちへの支援だけでは家庭を救えないと感じるようになり、令和2年秋から子育て世代へのフードパントリー「おすそ分け会」を始めました。市内の旅館や農家、商業施設から食べ物を寄付していただき、それをお渡しする会です。上山市の子育て世代であれば誰でも参加できます。たくさんの保護者の方々と話をする中で、些細なことでも相談できる場所が減っている実態と学校に行けない子どもたちが増えていることを目の当たりにし、昨年秋からは、「孤立をなくす」をテーマに上山市の中心部にフリースクール兼カフェ「まなvivaかえる家」をオープンさせました。子どもたちだけでなく、大人の集いの場にもなり、気軽に相談ができる場所になりました。



おすそ分け会



まなvivaかえる家

みんなが手を取り、助け合っていけるまちになるように、人と関わること、人のぬくもりを感じられることのすばらしさを大切にしている熱い思いをお聞きし、この取り組みをこれからも応援していきたいと感じました。